

令和 7 年度 第 7 回 西蒲区自治協議会 会議録

○日時：令和 7 年 10 月 30 日（木）午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分

○場所：巻地区公民館 3 階 小ホール

○出席者

・委員

石田委員、栄原委員、上原委員、岩崎委員、乙山委員、田中（隆）委員、鈴木委員、
押野委員、本田委員、後藤委員、相馬委員、岡崎委員、大橋委員、近藤（実）委員、
池田委員、原委員、藤田委員、岩見委員、小柳委員、吉田委員、本井文雄委員、
田中（久）委員、米山委員、滝沢委員

以上 24 名

（欠席：近藤（イ）委員、本井文吉委員、谷原委員、佐々木（寛）委員、
佐々木（貴）委員、五傳木委員）

・事務局

区長、副区長（地域総務課長）、区民生活課長、健康福祉課長、産業観光課長、
建設課長、西川出張所長、潟東出張所長、中之口出張所長、西川図書館長、
西蒲区教育支援センター所長、地域総務課長補佐 2 名、同課係長 1 名、
同課職員 3 名

・傍聴者 1 名、報道 1 社

【会議内容】

事務局 (瀬戸補佐)	<p>ただいまより令和 7 年度第 7 回西蒲区自治協議会を開催します。</p> <p>始めに配付資料についてですが、事前に送付した資料のうち、「令和 7 年度西蒲区自治協議会委員研修参加確認票」及び「区自治協議会全体会委員懇親会出欠回答票」については、本日中に事務局に提出をお願いします。</p> <p>本日、机上にお配りした資料としまして、次第。次に資料 2-1。こちらは事前送付資料の差し替えとなります。</p> <p>次に参考資料として、にしかん応援隊「明るいまちづくりイルミネーション事業」の募集シート。「西蒲区自治協議会通信『じちきょう』第 23 号」。</p> <p>また、議会報告会のチラシをお配りしています。こちらについては後ほどご覧下さい。</p> <p>それから、9 月 5 日（金）に東区プラザで行われました、「令和 7 年度新潟市区自治協議会全体委員会研修の記録」をお配りしています。</p> <p>こちらについても後ほど参考までにご覧下さい。</p> <p>最後に、吉田会長からの地域の課題提案について。</p> <p>資料は以上となりますが、不足などございませんでしょうか。よろしいでし</p>
---------------	--

	<p>ようか。</p> <p>それでは、これ以降の会議については、新潟市区自治協議会条例第9条に規定によりまして吉田会長から議長として進行をお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>皆さまお疲れさまです。今期も今日が第7回目ということで、いよいよ各部会の事業も検討が大詰めになってきたかと思います。</p> <p>全体会ではなかなか皆さまに協議いただいたり、全体で話しをするということが最近ありませんでしたが、何か西蒲区全体で考えることがありましたら、事務局へ出していただきたいと思っています。</p> <p>今月もたくさんイベントがありまして、様々な形で皆さま、大変お疲れさまでした。</p> <p>私も行けるところは行かせていただきました。全部ではありませんでしたが、素晴らしいイベントをしていただいたなと思っています。</p> <p>また、気温のほうもめっきり寒くなりまして、先月ぐらいは暑いなと思っていたのですが、私も長袖を着るぐらいになってきましたので、だいぶ朝晩寒くなってしまったし、気候の変わり目です。体調を壊さないように皆さま留意して下さい。</p> <p>それではよろしくお願いします。</p> <p>まず本日の委員の出席状況と傍聴者について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局 (瀬戸補佐)	<p>委員の出席状況についてご報告します。委員30名のうち、本日の出席者は24名であり、過半数の出席を確認しています。従いまして、新潟市区自治協議会条例第9条の会議の運営規定を満たしていますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、本日、傍聴につきましては1名。報道は1社が来場しています。</p> <p>事務局および報道機関で写真撮影ならびに録音をさせていただきますので、ご了承願います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。それでは議事に入ります。</p> <p>議事(1)、各部会の状況についてです。</p> <p>各部会長は前回の部会の状況について、総務部会、保健福祉部会、まちづくり・産業部会、広報部会、調整部会の順に、説明者席で報告をお願いします。</p> <p>それでは始めに総務部会、田中部会長お願いします。</p>
(田中(久)委員)	<p>総務部会です。</p> <p>今回の会議の内容ですが、まず、令和8年度の自治協議会提案事業については、事務局から説明があつて協議の結果、事務局案のとおりとすることとなりました。</p> <p>もう1件が令和7年度区自治協議会提案事業についてですが、こちらも事務局から説明があり、事業内容は情報リテラシーに関する防災朗読劇とアフタートークで構成し、エントランスも活用することとなりました。</p>

	<p>情報リテラシーを扱うことから、SNS 等を利用する若い方にも来場して欲しいために、若い方が事業に興味を持ってもらうためのアイデアを各委員は次の部会までに事務局に提出することとなりました。</p> <p>主な意見としましては、エントランスの活用で、西蒲区のハザードマップを掲示してはどうか、地域の防災団を参加させてはどうか、若い方の興味を持つてもらう方法について工夫が必要であるというような意見が出ました。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの説明につきまして、なにかご意見・ご質問ありますでしょうか。</p> <p>総務部会のほうでは情報リテラシーということで、最近様々なネット情報も本当かうそか分からなくなっています。</p> <p>そのようなものをテーマにしながら、催し物を開催するということです。日にち、決まっていましたか？</p>
(田中(久) 委員)	3月1日です。
議長 (吉田会長)	<p>3月1日の日曜日。前回も言ったと思いますが、皆さまも予定を入れておいて下さい。よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>続きまして保健福祉部会、鈴木部会長お願いします。</p>
(鈴木委員)	<p>保健福祉部会です。</p> <p>前回、10名中8名で会議を行いまして、まずは、令和8年度の自治協議会提案事業について、事業名及び概要について協議しました。その結果、事業名は「あたたかな人の和でつながるまちづくり」としまして、事業概要では、「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまちづくり」を目指すために部会で所管する分野の調査研究を行い、地域課題の解決に向けた取り組みを進めることとしました。</p> <p>また、もう1つは、令和7年度・8年度の区自治協議会提案事業についてですが、以前意見交換した内容から、取組み、テーマをどのように進めていくなどを協議しまして、取組みのテーマについては「高齢者の移動支援」として、地域コミュニティ協議会などへの高齢者移動支援を実施している団体・コミュニティ協議会などの事例を聞くことができる場を提供することとしました。</p> <p>これは令和7年度の取組みです。</p> <p>日程について修正がありまして、11月・12月と書いてありますが、12月に2回開催することとしています。</p> <p>内容は、事例発表を聞く場の提供と、高齢者支援などにおける困りごとのアンケートなどの実施・事例発表を受けて、各地域でやれることなどを専門家からお話ししていただく予定です。</p> <p>コミ協に案内を出しますので、自治協に出て下さっているコミ協代表の委員の方はぜひ積極的に参加していただけるようにお誘いのほど、お願いしたいと思います。以上です。</p>

議長 (吉田会長)	ありがとうございました。今ほどの説明につきましてなにかご質問・ご意見ありますでしょうか。上原委員。
(上原委員)	あとで文書とか、チラシとか、なにか出るのでしょうか。
(鈴木委員)	後日になりますけれども案内を発送させていただきますので、ぜひ出席をいただけるように促していただけるとありがとうございます。
議長 (吉田会長)	ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうかね。 こちらのほう、自治協の委員にも日程が決まつたら案内を出して教えて下さい。
(鈴木委員)	はい、分かりました。
議長 (吉田会長)	よろしくお願ひします。 他になれば、では大変ありがとうございました。 続きまして、まちづくり・産業部会、石田部会長お願ひします。
(石田委員)	まちづくり・産業部会です。 令和8年度自治協議会提案事業について協議を行いました。 これについては今年度と同じ内容で「修正なし」ということにいたしました。 続きまして令和7年度自治協議会提案事業について協議しました。 取組みをスタートした「コミ協応援隊活用伴走支援チーム」について各チームからヒアリングや支援した内容についての報告がありました。 主な内容としましては前期の部会で作成した募集シートの書き方をまとめたものやこれまでの参加者アンケートの結果を渡して作成の参考にしていただいたり、コミ協としては募集段階ではまだ任せる仕事が確定していない、仕事の用意が難しいなどの事情があることでした。 ポスターと応援隊参加者の声などをまとめた周知用の広報物作成については、委員は次回の部会までに具体案を考えてくることとしました。 以上ですが、前回、吉田会長からなにか質問があったら皆さまから声を聞くような機会があってもよい、とのことでしたので、にしあん応援隊について、皆さま、なんでもいいのですが、なにかあれば今、質問していただければ答えられる範囲で答えたいと思います。なにか質問ありますか。
議長 (吉田会長)	石田部会長、大変ありがとうございます。 応援隊のこと、応援隊に参加してみてでも結構です。もうちょっと取組みをPRしたほうがいいのでは、など何でも結構ですので、皆さま、積極的にいかがでしょうか。 はい、田中委員。
(田中(隆)委員)	にしあん応援隊募集シート、昨年度「明るいまちづくりイルミネーション事業」で募集したところ、3名来てくれた。とにかくうれしい限り。 どなたが来られているか分かりませんけど、この場で感謝申し上げます。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。 のちほど、活用された方の報告等もあると思うのですが、それと重複して

	<p>も全然かまいません。</p> <p>まだまだ全然周知は図られていないと思うのですよね。</p> <p>ただ、コミ協さんには部会のほうで一生懸命伴走支援しているので、ちょっとずつ周知はされたのかなと。</p> <p>そのへんコミ協から出ている委員の皆さん、いかがでしょうか。</p> <p>上原委員、お願いします。</p>
(上原委員)	<p>伴走チームとして今回初めて動いたわけですけども、私、にしかん産業祭の関係でにしかん商工会の事務局長とお話しさせてもらいまして、最初は使わないつもりでいたのだけど、という話を切り出されて、ちょっと困ったなと思っていたのですけども。今までの過去のデータ、参加された方のアンケートとか、反省点のようなものをまとめたシートを持って行って見てもらって、それで後日また理事会で協議して出すか、出さないか決定しますというふうにその場では言われたのですけども、実際、応募シートを出していただきました。4人の応募があって、特にすごく良かったなと思ったものはNSGの専門学生が3人応募されてきたのです。女性の方だったのですけども、私、取材に行ってきたのですが、公務員養成の専門学校生だったので、先生のほうから言われて、学校の流れの中でやはり社会に溶け込んでいろいろなことをしてきなさいというようなことを言わされているようで、ゼミの一環のような感じで来られたという話を聞いて、緊張はしていたのでしょうか一生懸命頑張ってやっている様子を見ました。</p> <p>逆に私も別の伴走支援チームの部会委員から来ていただいて、ああしませんか、こうしませんかと言われて、やはり一人で考えるよりは大勢で考えたほうがいろいろなアイデアも浮かぶし、いいシステムだと思います。</p> <p>でも、そのあの部会用のレポートを書くことが大変だということになっています。以上です。</p>
(石田委員)	<p>大変ご苦労さまでした。</p> <p>私も、西川の時代激まつりに行ってきたのですが、やはりコミ協としては応募シートを書くことにまだ慣れていないという感じを受けましたので、やはりこの支援チームでまわって良かったなと思っています。</p> <p>コミ協が応募シートの書き方がよく分からぬというのは、イベントは常時やっているわけではなく、コミ協の仕事ではないのではという感じなのです。</p> <p>初めてにしかん応援隊という制度を作ったわけですから、まだコミ協自身も慣れていないというようなことが多いのかなと思うので、やはり伴走支援チームを通じて、まずはどんどん活用いただくということがやはり大事なのかなと強く思ってきました。</p> <p>今回、にしかん産業祭も当初、応募しないというような話があったようですが、皆さまの協力によりまして募集シートを出していただいた結果、4名の応募があったということで、ひとつの成功だったかなと思っています。ど</p>

	うありがとうございます。
議長 (吉田会長)	ほかにいかがでしょうか。本田委員。
(本田委員)	<p>中之口コミ協です。中之口コミ協はすみません、まだ一度もこの募集シートの活用がなくて、その 1 つの理由には、なかなか地域で目玉になるようなイベントがあまりなくて、細かなものを部会でやっていますけど、そこは部会員さんの力で多くのイベントなんかはとりあえずやれているというところがあります。今回部会の方で、各コミ協さんに回っていろいろな助言をいただけるところに、作業員としてだけでなく、地域の担い手を育成するというような視点も踏まえてというようなところだったかと思うのです。</p> <p>それでコミ協でも作業がある、ないとかではなくて、担い手の確保という意味でこの制度を活用するということはできるのではないかというところで皆さまにちょっと話はしているのですが、実際にこれまでの成果の中で担い手の育成や、地域の活性化につながったようなものがあったらコミ協に持って帰りたいなと思うのですけど、もしそういったところがありましたら教えて下さい。</p>
議長 (吉田会長)	いかがですか。
(石田委員)	<p>参加してみて感じたのは、他の地域は知っているようで意外と知らないなと思ったのです。西川の時代激まつりに行ってみたら、地域の人はこういう宝を持っているのだなと思いました。</p> <p>あるいは人と人、参加した人同士もしくは地元の人と参加した人が人間的につながるというか、仲良くなれるなど、いろいろなメリットがありますよね。</p> <p>そのようなことを今、私たちの支援チームで回っているのですけど、それをまとめてまたあとでお伝えしたいと思います。</p> <p>また、巻の祭りでは、にしかん応援隊で参加した人が 2 か年続けて来ていただいたことがあります。</p> <p>地元の人と触れ合えてよかったですというようなことで、また来年も来て下さいねと言ったら喜んで、「はい、行かせて下さい」のような返事を聞いていました。</p> <p>来た人も驚いていました。「ああ、まき夏まつりってこういう祭りなんですね。初めて分かりました」のようなことで、私も西川に行ってみて、初めて「西川ってやはりすごいのだな」と思ったりして、参加することによって地域がより身近になったり、その地域の人と仲良くなれたりします。</p> <p>あと、にしかん産業祭に関しては相馬さんお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	では相馬委員お願いします。
(相馬委員)	お疲れさまです。にしかん産業祭については、皆さまのほうからいろいろ

とご協力いただき大変ありがとうございました。

商工会が4月に合併して、せっかく合併したのだから、みんなでなにかやろうよという話でございまして、もともと巻でやっておりました多加良まつりのイベントとして行っていたお祭りを西蒲区全体に広げようということで今回第1回目、にしかん産業祭というタイトルで開催させていただきました。

それで商工会ににしかん応援隊のシート提出のお願いに来ていただいたのですけど、事務局レベルでは、去年の対応でうまく行かなかったようで、今年はやめておこうかという話が会議に上がっていたので、そこに私も参加しておりましたので、そうではなくて具体的な仕事内容など、そういうことをきっちり決めてご案内をすれば応募もあるのではないかという話をしました。

単純にお祭りのお手伝いに来て下さい、何時から何時です、というようなものではダメですよと。具体的に今回は抽選会のお手伝いをして欲しいということで、より具体的に内容を記載して提出をしてくださいということで募集をし、おかげで4名の方にお越しいただきました。そのうちの3名は学生さんで、滝沢委員のほうからのお声掛けもあってご参加をいただいたメンバーだったのですけど、20代の若い女の子3人。こちら3人が抽選会のお手伝いをしていただきました。

来られた方は巻に來るのが初めてなのかどうかわかりませんが、非常に楽しんでおられましたし、抽選会に来られた地域の方ともお話をすると中で徐々に打ち解けている感じで、参加した地域のことを少しずつ理解しているのかなというふうには見えましたし、また、もう一人は男性の方でこれはまた別の仕事をしていただいたのですが、この方はリピーターです。

聞いたところによると、まき夏まつりで参加いただいた方が再度来てくれたということのようで、やはりその方はきっと前回が楽しかったと思うのです。

だからそういうことで、少しでも携わることがその地域を知ることになってそれがまた楽しみになってとなるのでは。

ただ、その第一歩を踏み出すきっかけを誰かが背中を押してやらないとだめなのですよね。

それがコミ協さんのメンバーの誰かなのか、例えばテレビCM・ラジオCMのようなメディアで、「これ、おもしろそうだね」というふうに思われるのか。もしくはここにいらっしゃる一人ひとりが声をかけて参加してみないかということで誘うのか。方法はいろいろあると思うのですけど、やはりそのお手伝いに来ていただけそうな方の背中を押してやることがやはり大事なかなと思いました。

それでまちづくり・産業部会のほうでも、その一助になればということで、まずはこういうにしかん応援隊ということを取り組んでいるということ

	<p>とを PR しようということで、今年、ポスター展開をしてはどうかと。</p> <p>それで、学校や施設などに掲示することによって知名度を上げつつ参加を募っていくということが必要かなということで今、動いています。</p> <p>それで実際受けた側の立場で言いますと、産業祭で来ていただいて本当、助かりました。</p> <p>逆に言うとその 3 人がいないと回しきれなかつたのではないかなどいうぐらいでしたので、本当に助かったなと思っています。</p> <p>来年またどういう展開になるか分かりませんけども、また応募しまして、特に巻以外の地域の方にも来ていただいて、地域のことを知っていただくなればなというふうに思いました。</p>
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ほかにいかがですか。鈴木委員。
(鈴木委員)	<p>このあいだ、伴走チームの方が時代激まつりの前に来て打ち合わせをしていたのですけれども、応援隊というものがこのイベントに対してのこのボランティアで終わっているところなのですよね。</p> <p>けれども、やはり話を突き詰めていくと、そのイベントだけではないほかの部分も手伝いが本当は欲しいのだよというものがけっこうたくさんあるのです。</p> <p>このあいだ話をしていたのは、コミ協のほうで敬老会がありますが、敬老会で来られた方に渡す粗品の袋詰め作業ですとか、いろいろな大変な作業はたくさんあるので、イベントではないけどボランティアが必要な作業はたくさんあります。</p> <p>イベントは元気良くて動ける人が行くところ。そうするとやはり自然と動ける人というその限定的要素が生まれてしまう。</p> <p>では、軽作業のボランティアはと言うと、町にいるおじいちゃん・おばあちゃんや、人前に出るのはちょっとというような方でも手伝える作業があるのではないかと。ボランティアという点で考えていった時にこのいろいろな関わり方を生み出すことができるよねというふうに話のほうが流れていきました。</p> <p>それはとてもいいことだなと思いまして、今後、そういうしくみをどう作るかというところがまた問題なのですから、またプライバシー問題などもありますが、伴走チームに来てもらえたおかげでもう一歩、踏み出せるところに来ましたので、ありがとうございました。</p>
(石田委員)	皆さんから大変貴重な意見いただきましてありがとうございます。部会のほうでも皆さんからの意見をまた反映させていただきまして、まとめたものをお返しできればと思っています。大変ありがとうございました。
議長 (吉田会長)	私から 1 つ。イベントは大小ではないのですよね。催し物をやることに對して段取りをしていくともういっぱいいっぱいでよねという状況はけっこうあると思うのです。

	<p>でも、いっぱいいだよねという時はもうイベント自体がもう、うまく回っていかなくなるので、余裕がある時にこそ、やはり応援隊を頼んで、なにかサポート役ということで入っていただけるようななかたちを取って行くといいと思うのです。</p> <p>だから、例えばコミ協でこのイベントは「応援隊は募集しない」ではなくて、そういうものはすべて上げていただくことによって、ゼロかもしれないけど、前回行ったからまた行こうかとか、巻の祭りの場合は1年目は見守りの仕事をしていただいたけど、2年目からは、もうベテランということでどんどん頼むことが増えたのです。</p> <p>どんどんスペシャリストになっていくので、そういうことになるとまた地域の担い手のほうも元気が出てくると思いますので、ぜひ、コミ協のイベントに限らず、岩室温泉のなにかイベントや、PTAのイベントなどあればどんどん事務局のほうに募集の相談をしていただければと思います。素晴らしい制度だと思うので、1人でも多くの人がやはり知つてもらうことと、携わっていただくことが大事かなと思いますので、ちょっと付け加えさせていただきました。</p> <p>石田部会長、大変ありがとうございました。</p> <p>ぜひほかの部会もこういうかたちで皆さまに聞いていただけるようなどができると活発な場になると思いますのでよろしくお願ひします。</p> <p>続きまして広報部会、部会長が本日欠席ですので、滝沢副部会長、お願ひします。</p>
(滝沢委員)	<p>第3回の広報部会の内容についてご説明させていただきます。</p> <p>西蒲区自治協議会通信、じちきょう第23号の発行に向けて、皆さまのお手元に配布されている資料の中に紙面があると思うのですけれども、こちらの第23号の2校の紙面について協議を行いました。</p> <p>協議の結果、紙面のレイアウトはこちら、2校、裏表の内容で決定いたしました、改めてちょっとした語句などの修正をしたうえで校了することとしました。ご確認いただけたらと思います。</p> <p>表面は、各コミ協さんから推薦いただきました「おすすめスポット」を掲載させていただいています。</p> <p>裏は、第10期の自治協議会の紹介が載っています。委員の名簿も載せておりますので、もし、ご自身のお名前などに不備などありましたら、あとで教えてください。よろしくお願ひします。</p> <p>こちらは11月の14日に発行しまして、自治会を通して区内の各家庭にお配りする予定となっています。</p> <p>それで「自治協とは」のところの委員の皆さまの写真、上のほうに欠席された方の写真はのちほど入れますのでご了承下さい。よろしくお願ひします。</p>
議長	ありがとうございました。これ、印刷はまだですか？

(吉田会長)	
(滝沢委員)	そうですね。これで印刷をかけます。
議長 (吉田会長)	<p>では、ご自分のお名前と所属と間違っていないか確認していただいて、間違っている場合は事務局のほうに本会議が終わりましたら伝えて下さい。</p> <p>大変素晴らしいと思います。一段と見やすくなつたというか。</p> <p>これについてなにかご質問ありますでしょうか。間違っているものはあるとで事務局に報告して下さい。</p> <p>では大変素晴らしい広報紙ありがとうございました。</p> <p>また、3月号もよろしくお願ひします。</p>
(滝沢委員)	はい。
議長 (吉田会長)	<p>続きまして調整部会です。調整部会のほうは、わたくしのほうから報告します。資料1-5をご覧下さい。</p> <p>10月16日に会長・副会長および各常任部会の正副部会長で構成される調整部会を開催しました。</p> <p>始めに令和8年度区自治協議会提案事業については、9月に各部会で検討いただいた内容で本日の本会議に諮ることとしました。本日の資料2-2で配布となっています。</p> <p>次に西蒲区自治協議会委員研修についてですが、これは委員のスキルアップを図るとともに、自治協や、地域における活動にすることを目的として毎年開催しています。</p> <p>詳細についてはこのあと報告のところで説明をしますが、委員の皆さまの今後の活動のヒントにしていただければと思っています。わたくしの説明は以上です。なにかご質問・ご意見ありますでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。それでは、議事1を終了させていただきます。</p> <p>続きまして議事(2)、令和8年度特色ある区づくり事業についてです。</p> <p>地域総務課長から説明をお願いします。</p>
事務局 (小林地域総務課長)	<p>地域総務課長小林です。令和8年度特色ある区づくり事業についてご説明をさせていただきます。</p> <p>それでは資料2-1をご覧下さい。</p> <p>来年度の区づくり事業は、15事業を提案する予定でございます。</p> <p>各事業は、区ビジョンまちづくり計画の方針に沿って立案しています。</p> <p>なお、令和6年度予算より、子育て・健康福祉・防災にかかる事業については、区づくり事業とは別に予算要求を行うことになりましたので、一覧にはありません。</p> <p>それでは事業概要について説明をさせていただきます。1番目『「にしかん なないろ野菜」消費拡大支援事業』では、引き続き、直売所での販売を実施し、販路の拡充と消費の拡大に取り組みます。</p> <p>2番目「もっと農を身近に！穫・食ガーデン」は、新規事業として中之口農業体験公園での農村景観に親しみ、農作物の収穫体験や調理実習の機会</p>

を提供することで、都市と農村地域の交流を図ります。

3 番目も新規事業です。「MOKUMOKU にしかん」です。国産材木で建てられたほたるの里交流館で西蒲区の木材・杉と触れ合う「木育」の取組みを開展します。

角田山の杉で作ったおもちゃで遊べる木育広場や、杉を使った木工ワークショップを開催し、施設の利用増、および区内の木材の需要拡大を目指します。

次に 4 番目「ようこそにしかん誘客事業」では、観光需要が回復途上であることを踏まえ、引き続き首都圏と県内外での商談会での情報発信や海外旅行会社および、インフルエンサーを招いてのモニターツアーなどを実施し、訪れたい街として国内外から選ばれる西蒲区を目指します。

5 番目『「矢垂の郷」賑わいづくりプロジェクト』です。矢垂の郷、観光スポットとして定着させるために現在取り組んでいます、ほたるの里公園の草刈りや植栽などを整備。集客イベントを引き続き実施し、知名度の向上を図ります。

6 番目「西蒲区 PR 大使事業」です。区や地域のイベント等に参加して区の魅力を SNS で広く発信していただいている PR 大使の難波章浩さんより、引き続き区の魅力発信やイベントに参加いただき西蒲区の魅力を区内外に広めていきます。

7 番目「岩室温泉芸妓文化支援事業」です。岩室の芸妓文化を多くの方に知ってもらうため、次年度、引き続き、芸妓の舞や文化に親しんでいただく機会として、お稽古体験やパンフレット作成を行い、芸妓文化の存続・発展と観光資源の 1 つとして PR を図ります。

次に 8 番目「ホッケーDE にしかんグー」です。引き続き、こどもたちにホッケ一体験などの機会を提供し、ホッケー人口の拡大を図ります。

裏面をご覧下さい。9 番目「西蒲区の文化再発見」です。これも継続事業になりますて、西蒲区内の小学生を対象に文化施設見学や体験活動、行うバスツアなど実施し、西蒲区の歴史・文化の情報発信に取り組みます。また、今年度実施した澤将監の館でのコスプレイベントでは約 100 名の方に参加いただきましたけれども、こちらも継続して取り組んでいきたいと考えています。

10 番目「地域で支える”暮らしの足”プロジェクト」です。こちらも今年度実施していますが、区バス車内に沿線保育園の園児が描いた家族の絵を貼り出す、走る絵画展。今年度連携協定いたしました西蒲中央病院の送迎バスの取組みを引き続き行ってまいります。また、地域の実情に合った移動手段に関する検討・取組みに対して支援し、安心して移動できる環境を整えたと考えています。

11 番目「にしかん ともに未来を育むミッション」では、地域の人材を発掘・育成し、ネットワーク化を図り、共に未来を育むためのつながる場を

	<p>提供してまいります。</p> <p>12番目「西蒲区空き家利活用」です。空き家事前相談会。空き家バンク・支援制度などの空き家対策に取り組み管理不全の状態になる前に利活用を進めてまいります。</p> <p>13番目「未来につなごう にしかんこども環境事業」として、区内の小学校から応募いただくポスターコンクールを行い、多くのご家庭で自然環境の保全について考えていただきます。</p> <p>14番目「中学生 地域の先輩トーク～地域の LOVE&LIFE～」では地域で活動する若い世代と中学生で語り合い、多様な生き方や働き方を知る機会を提供したいと思っています。地域への愛着を育み、いつか西蒲区に戻ってきてみたいと思えるきっかけづくりを目指してまいります。</p> <p>15番目「小学生 笑顔で育むふるさと魅力発見プログラム」です。</p> <p>小学生へ地域の愛着を育むため、今年度は、お笑い集団ナマラの芸人さんにより、楽しく地域を学べる事業を行いました。来年度も引き続き、楽しみながら地域を学ぶ取組みを行いたいと考えています。</p> <p>以上が現在提案予定の15事業となります。今後の流れとしまして、皆さまのご意見を踏まえ、事業概要を精査し、区自治協議会提案事業と併せ、12月に原案を確定したいと思っています。</p> <p>続きまして資料2-2をご覧ください。</p> <p>来年度に各部会で取り組んでいただきます、区自治協議会提案事業についてです。</p> <p>こちらについては、各部会で協議いただき、記載のとおり取り組む予定となっています。先ほどの区役所企画事業と併せて、特色ある区づくり事業として、12月に原案を確定したいと思っています。</p> <p>最後に資料2-3をご覧下さい。</p> <p>7月の自治協議会で委員の皆さんに、特色ある区づくり事業についてのアイデアを募集し、多くの提案をいただきました。</p> <p>その後、8月の部会で、それを基に意見交換を行い、部会から提案いただいたものに対し、担当課の考え方を記載した資料です。</p> <p>裏面の、資料の整理番号4番をご覧ください。</p> <p>池田委員から地域で支える”暮らしの足”プロジェクトについてご意見をいただきました。今年度から事業をスタートしておりまして、地域に適した移動手段の取組みを今後進めていきたいということで考え方を整理しています。</p> <p>また、その他の内容につきましても今後の行政施策に大いに参考にさせていただきたいと考えています。ご提案ありがとうございました。説明は以上です。</p>
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。ただいまの説明につきましてなにかご意見・ご質問、ありますでしょうか。

	はい。棄原委員。
(棄原委員)	2番と3番なのですが、事業名が「もぐもぐ」と「MOKUMOKU」と、なにか音が似ているなというところと、この2番はこの「とる」獲得の「獲」と「食」で「もぐもぐ」ということですか。
事務局 (小林地域総務課長)	産業観光課長のほうからお答えさせていただきたいと思います。
議長 (吉田会長)	ではお願ひします。
事務局 (小出産業観光課長)	<p>産業観光課長の小出と申します。どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>事業名の件なのですけれども、まず、2番の「穫・食ガーデン」なのですけれども、これが中之口農業体験公園を会場にしまして農産物の栽培体験とか、栽培学習、収穫体験などを通じて農業の素晴らしさを伝える事業になります。</p> <p>事業名も少し思いを込めておりまして、「穫・食ガーデン」という名前ということで、前半の「穫」は、例えば枝豆をもぐとか、なすをもぐとか、なないろ野菜をもぐとか、新潟弁で収穫するという意味の「もぐ」。それで後半の「食」がですね、「もぐもぐ」食べるという意味の「もぐ」。自分で収穫したものを自分で調理して食べると。その過程で農業の素晴らしさを伝えていくという思いを込めた事業です。</p> <p>それで次の3番の「MOKUMOKUにしかん」ですが、この「MOKU」は今度は木材の「木」ということで、せっかく西蒲区の福井にほたるの里交流館という木材をPRする施設があるということで、じょんのび館の隣に併設されている施設なのですけれども、そういう施設を活用し、また、角田山に伐採の適齢期を迎えた杉材が豊富にあるということで、その未利用資源を生かしながら地元産材のPRをできないかということで、MOKUMOKUということで名前を付けています。</p>
議長 (吉田会長)	いかがでしょうか? どうぞ。
(棄原委員)	<p>収穫の「もぐ」というものがおもしろいですね。</p> <p>そういった思いがあってこういう事業名とされていることがわかりました。ありがとうございました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>よろしいでしょうかね。なにかその「もぐ」というものだと分かるようになんか入っているといいかもしれないですね。</p> <p>参考にしていただければと思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>新規事業が結構多くありますので、継続ももちろんたくさんありますが、皆さまいかがでしょうか。せっかくの機会ですので。</p> <p>ではよろしいでしょうか。</p> <p>自治協の提案事業については各部会で既に方向性を出していただいてい</p>

	<p>ますので、それでは令和 8 年度の特色ある区づくり事業の資料 2-1 の区役所企画事業については、提示された案のとおり区役所で進めてもらうということで皆さまよろしいでしょうか。</p> <p>よろしければ拍手をいただいてよろしいでしょうか。</p>
(会場)	(拍手)
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでもう 1 つ 2-2 ですね。区自治協議会提案事業についても案のとおり各部会で進めていくということでよろしいでしょうか。よろしければ拍手、お願いしたいと思います。</p>
(会場)	(拍手)
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。それでは、皆さま、各課長さんもよろしくお願ひします。</p> <p>議事 2 は終了します。</p> <p>続いて報告 1 の令和 7 年度区自治協議会委員研修会についてです。わたしから説明をします。</p> <p>それでは資料 3 をご覧下さい。</p> <p>前々回、ちょっと提案をさせていただきましたが、毎年、西蒲区自治協議会では委員の見識を深め、さらなるスキルアップを目的として、区自治協議会委員研修を行っています。</p> <p>今年度は西蒲観光周遊ぐる～んバスのコースを体験して地域を知ろうということをテーマとして、地域に点在する魅力的な施設や景観の認知を深め、地域に関心を持つことによって今後の自治協議会および地域における活動につなげていくと考えています。</p> <p>開催日時については、11 月 27 日。自治協本会議前である午前 9 時から開催を予定しています。</p> <p>なお、研修の出欠については、事前に配布しました令和 7 年度西蒲区自治協議会委員研修参加確認票にご記入のうえ、本日中に事務局のほうに提出をお願いします。</p> <p>なるべく多くの皆さまから参加していただいて、ぐる～んバス自体はもうその時には終了していますが、皆さまから回っていただいている意見をお聞きしたいと思います。私も正直ですね、大変はずかしい話なのですが、ぐる～んバスを見たことはあるのですけど、乗ったことがないのでも、コースをこの機会にどういうかたちで回っているかというものを見てきたいと思っています。</p> <p>皆さま、ご参加をよろしくお願ひします。</p> <p>ただ今の件についてなにかご意見やご質問ありますでしょうか。</p> <p>ではよろしくお願ひします。</p> <p>それでは報告 1 を終了します。次に西蒲区の課題・地域の情報などです。始めににしかん応援隊の活動実績。先ほどもちょっとお話しいただきま</p>

	したが、越後にしかわ時代激まつりについて鈴木委員より説明、お願いします。
(鈴木委員)	<p>越後にしかわ時代激まつりの報告です</p> <p>にしかん応援隊としては2名、募集がありまして来ていただきました。</p> <p>当日は雨天プログラムということでの開催で、屋内で密集した感じの中でかえって良かったのではないかなと思いました。当日は店舗が体育館前の場所に集中して出店していましたので、かえってにぎやかさとか、来場者の流れが良くてだいぶ売れ行きも良かったように聞いています。</p> <p>石田委員からもお手伝いに来ていただきまして。</p> <p>ただ、時期的に言うと、その行楽シーズンなので、募集をしてもやはり難しい。どうしてもしょうがない部分もあるのかなというところはあります。先ほど私がちょっと発言しました、イベントではない部分のボランティアについてはまた考えていくべきだと思います。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。ただ今の件についてなにかご意見・ご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>次ににしかん応援隊の活動実績、新潟にしかん産業祭。先ほどもちょっとお話をいただきましたが、改めて相馬さんお願いします。</p>
(相馬委員)	<p>ありがとうございました。先ほど報告したことなのですが、実績としては今回4名のご参加いただきまして、1名男性で3名が女性ということで、初めての西蒲区全体での産業祭でした。各地域から出店いただきまして、その関係の方々もたくさんお越しいただき、にぎわいも昨年から比べると非常に大勢の方に来ていただいたかなと思いました。</p> <p>あと、ご来場いただいている面々の中には懐かしい顔がたくさんいらっしゃいまして、新しいお祭りに対しての期待感が大きかったのではないかなと思います。</p> <p>また、応援隊についてはですね、本当に助かりました。今後も活動できる場面がいくつか出てくるかと思いますので、商工会といたしましてもいろいろな場面で応援隊の希望を出させていただくことが出ると思いますのでよろしくお願いします。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの説明につきましてなにか質問・ご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>ぜひどんどん募集をしていただきたいと思います。</p> <p>次に同じく、にしかん応援隊の活動実績報告で、角田山麓矢垂の郷フェスタについて、上原委員、お願いします。</p>
(上原委員)	<p>角田山麓矢垂の郷フェスタ26日の日曜日に開催しまして、大変残念だったのですけども、朝から小雨模様でだんだん降る量も多くなってきて、そのうちキッズダンスのほうのチームからキャンセルの電話、入るようになりますて、最終的に参加していただいたのがいちばん遠い秋葉区から1団体来られたのですけど、テントの中で雨の予想を見ながら、逆にお茶会で楽し</p>

	<p>んでいて。そしてキッズダンスも中止となりまして、イベントとしては成立しないような感じで終わりました。</p> <p>区長さんからもおいでいただきまして、また、たくさんの方からもおいでいただいだんですけども、残念でしかたがなかったです。応援隊の募集シートを出して、5つぐらいの仕事、3時間程度で3人ずつ募集したのですけども、応募はありませんでした。</p> <p>先ほども申したように伴走チームから指導していただいて、書き方もいろいろ工夫をしてみたのですけども、応募はありませんでした。</p> <p>また、雨の中、本井委員より、雨具まで着て手伝いに来て下さいましたが、雨で終了決定したあとでしたので、せっかくでしたがそのままお帰りいただきました。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。今ほどの件につきましてなにかご質問・ご意見ありますでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>本日、五傳木委員は欠席ですが、同じくにしかん応援隊の実績報告ということで、上堰潟ハロウィンまつりについて私から代わりに報告させていただきます。</p> <p>こちらは、募集をかけるのがたいぶ遅かったということで、応援隊は集まりませんでした。</p> <p>上原委員のところと日程が重なるなど、みんないつしょになっていまして、かなり多忙な、イベント盛りだくさんの日でした。</p> <p>それで、土日とやったんですけど、土曜日は晴れておりましたが、日曜日はやはりあいにくの天候で、なかなか大変でしたが、なんとか、われわれ地元の松野尾の方とですね、五傳木さんの仲間などと設営のほうはなんとか無事に終わりましたが、また、来年、今度は春には桜まつりがありますので、そちらのほうもまた募集していきたいと思いますので、よろしくお願いします。以上です。</p> <p>次に明るいまちづくりイルミネーション事業について、田中隆男委員より説明をお願いをします。</p>
(田中(隆) 委員)	<p>今年は3名募集です。応援隊シートに二次元コードとか写真が今回入っていないですね。</p> <p>それでやはり二次元コードは今、当たり前の時代ですね。内容について、連絡事項で今年から昼食のまかないは行わないこととなりました。今までまかないでカレーライスなどあったんですけど。</p> <p>実際に飾ってみると、イルミネーションが大変だということが分かりますし、点灯した時の感動はやはり、やった人間しか分かりませんので、ぜひお願いします。以上です。</p>
議長 (吉田会長)	<p>ありがとうございました。募集が始まっています。委員の皆さんでもぜひ行ってみようかなと思う方、ご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>二次元コード等についてはちょっとまた、前回、西川のほうで鈴木さん入</p>

れてくれたので、ちょっと相談してもらうといいのかなと思います。
こちらについてなにかご質問・ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。大変ありがとうございました。

それで最後はわたしから、前々回の自治協議会の時に西蒲区内小・中学生アンケート実施提案ということで、本日机上配布にて配らせていただきました。

目的については前々回お話ししたとおりで、これまでなかなか小・中学生に対してアンケートを取ることをなかなかやってきていませんでした。ただ、今、みんな iPad を持っているので、そういうところでできるのではないかということ、ちょっと試験的に今年度やらせていただきたいということで、お話をさせていただきました。

前回の調整部会の時にもですね、いろいろ各部会長・副部会長さんからご意見を頂戴しまして、基本的には、当初は部会で考えて質問内容ということを私、言ったのですが、それだと限定されてしまうので、委員の皆さまからどのようなことでも構わないので質問内容を出していただきまして、それを会長・副会長・事務局でたたき台を作らせていただきまして、本会議のほうに諮って、皆さまからご意見をいただいてやっていきたいと思っています。

質問形式も Google フォームを活用して、小学生・中学生から iPad で答えてもらうというかたちにしていきたいと思っているので、「はい」とか「いいえ」とか、「分からない」とかという選択項目をやはりあったほうがいいよねということでしたので、そちらのほうもちょっと考えていただきつつ、記述式も当然あってもいいと思います。提出いただく内容については小学生・中学生、どちらでもいいのだったら共通内容。どのようなかたちでもかまいませんので、聞いてみたいこと。また、地域によっても聞いてみたいことがあると思います。アンケートを取ることによって、こどもたちがどのように西蒲区に対して、地域に対して、思っているかということと、アンケートを毎年取ってデータベース化をして、ああ、自治協議会はなにかアンケート取る団体なのかなとか、地域のコミ協はこういうことやっているのかな、とか。将来的には自分たちがアンケート答えたことによってまちづくりがちょっと変わってきたなとか、すぐには目には見えないかもしれませんけど、やることによって魅力ある地域づくりができるのではないかなど思い、提案をさせていただきました。

それで皆さまから大変急なのですけど、11月の半ばぐらいまでにですね、聞いてみたいなというものを箇条書きで簡単でかまいませんで書いていただきまして、事務局へ送ってください。私のほうでちょっと直して11月の自治協でいったんお示しをして、12月の本会議で決定をし、新年早々に学校のほうにお願いをして、2月いっぱいまでに答えて下さいということでやっていけるのかなと思っています。

	<p>それで、メールのある方は事務局のほうからメールを改めて送らせていただきますが、郵送だと費用もかかるし、時間もかかってしまうので、次回の自治協の正副会長の会議が 11 月 13 日にあるので、大変急なのですけど、11 月 10 日までに書いてもらってよろしいでしょうか。</p> <p>数が少ないと非常にさびしくなってしまうので、どのようなことでもかまいませんので、ご協力お願いします。</p> <p>なにかご質問・ご意見ありますでしょうか。</p> <p>はい、石田委員。</p>
(石田委員)	このアンケートの確率(統計上の信頼区間、精度)はどのようにどのようにするのか。例えば 95 パーセントとか。
議長 (吉田会長)	基本的には、学校から協力をしていただいて、教育支援センターさんともお話になると思います。各学校にお願いに行って、強制ではありませんので私は 7 割・8 割答えていただければありがたいかなというふうに思います。いかがでしょう。
(石田委員)	それでもいいかと。本来だと、募集欄があって、その中にいくつサンプル取ると確率がどうだというものは計算式があるのです。
議長 (吉田会長)	なるべく多くの方から答えてもらえるように、各学校に回ってみたいと思っています。 逆にコミ協さん関係の方とか、一緒に回っていただける方がいらっしゃればありがたいです。なるべく多くの回答を得られるように努力していくみたいです。 ほかにいかがでしょうか。棄原委員。
(棄原委員)	対象者ですが、小学生・中学生およびその保護者とあるのですが、保護者向けの質問は今考えているのですか。
議長 (吉田会長)	今回いったんちょっと小・中だけにして。保護者も多分それに一緒になると思うので、今回提出いただくものは小学校・中学校。
(棄原委員)	はい、分かりました。
議長 (吉田会長)	ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。大変申し訳ありませんが、皆さま、ご協力のほうよろしくお願ひします。 たくさん書いていただいて全然かまいませんので、よろしくお願ひします。 そのほか、事前のご発言の申し出はありませんが、西蒲区自治協議会全体で議論したい課題。あるいは皆さまにお伝えしたい行事などがございましたらご発言をお願いします。 では、毎年恒例の潟東地区の有名な行事の PR があるそうです。拝野副会長お願ひします。
(拝野委員)	今回の会議にチラシが間に合わなかったのですが、毎年、行われている「かもん！カモねぎまつり」が 12 月 7 日、日曜日に開催されます。 そして、11 月 7 日から鴨汁券が、前売り券なのですが、発売されます。

	今回は 800 食で、1 食 1,000 円となりまして、ご飯がつきます。潟東産コシヒカリがつきますので、今回も前売り券のみとなっていますので、今回ちょっとチラシが間に合わなかったことはとても残念ですが、皆さんに、ご報告したいと思いますので、皆さまご参加よろしくお願ひします。
議長 (吉田会長)	潟東コミ協さんに連絡して問い合わせをして下さい。
(押野委員)	お願いします。
議長 (吉田会長)	毎年恒例な。にしかん応援隊も募集されるのですかね。
(押野委員)	今回してないのでは。
議長 (吉田会長)	はい。それはまたもし募集があればまたよろしくお願ひしたいと思います。ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。 では最後、閉会の前に押野副会長、締めをお願いします。
(押野委員)	皆さまお疲れさまでした。本会議、貴重なご意見をたくさんいただきましてまことにありがとうございます。 11 月も西蒲区、たくさんのイベントがありますので、わたしもできる限り参加していきたいと思いますので、皆さまもご都合つけて参加いただければと思います。ありがとうございました。
議長 (吉田会長)	ありがとうございました。それではすべて議事が終わりましたので、進行を事務局に返します。お願ひします。
事務局 (瀬戸補佐)	ありがとうございました。事務局から次回の西蒲区自治協議会についてご連絡します。 次回の西蒲区自治協議会については、11 月 27 日、木曜日の午後に本日と同じく巻地区公民館にて開催予定です。 なお、当日は先ほどご説明があったとおり、午前中に研修を予定していますが、研修を欠席した方におかれましても、午後から本会議への出席をお願いします。 そのご案内については、のちほど改めて送付させていただきます。よろしくお願ひします。 このあとの各常任部会のご連絡です。会場は前回と同じ、総務部会は 2 階の実習室。保健福祉部会、2 階、研修室。まちづくり・産業部会は 3 階の視聴覚室です。 なお、常任部会の開催時間ですが、14 時 55 分開催を予定していますので、お手数ですがお手元の名立てを持って移動して下さい。お願ひします。それでは以上をもちまして第 7 回西蒲区自治協議会を終了します。本日はどうもありがとうございました。